

# 第3回協議会を開催しました



(仮称) 碩田中学校区  
適正配置地域協議会

だより

第3号  
平成24年12月



十一月二十日(火)の午後六時三十分から、大分文化会館第二小ホールにおいて、第三回の協議会を開催しました。協議会では、まず、中島小学校PTA会長である佐藤委員と荷場町小学校PTA会長である安部委員から、両校のPTAが行った保護者へのアンケート結果について、報告がありました。また、(内容は三面に記載しています) 協議を踏まえ、第一回、第二回の協議区から報告など、各校区からの報告が行われ、活発な議論が交わされました。その中で、三校統合した際の、多人数で、大分市立小中学校適正配置基本計画に基づき、三校統合の方向性で協議を進めることが確認されました。

次に、本協議会の規約案について協議が行われ、委員から協議会に取りまとめた意見や、委員に付託することや、委員

**第四回地域協議会は十二月二十日(木)開催**

第四回の協議会は、十二月二十日(木)午後六時三十分から午後八時三十分まで、大分文化会館第二小ホールで開催します。

本協議会規約の修正案、地域住民の懸念に対する取組などの協議を行う予定です。

の役割を明確にするのと同時に、合意は委員により決することなどの修正案が提示され、こうした趣旨を追加することを確認されました。なお、規約に関しては、会長、副会長と相談のうえ、事務局において文言の調整をし、次回協議会で再提案することとしていきます。

次に、会議の傍聴に関する要領について協議がなされ、原案どおり異議なく決定され、掲載していただきます。(内容は二、三面に

第3回協議会における主な内容を掲載しています。  
(発言内容については、紙面の都合で要旨のみとしています。ご了承ください。)

### 【各校区での協議状況の報告】

中島校区の協議会を開催した結果、3校統合し新設校を建設することは基本的にやむを得ないと判断している。3校とも児童数の減少により、一部に弊害が顕在化していることから、統合によって規模の拡大を図るなどの教育環境の整備が必要であると考え。なお、中島小学校は現在適正規模であり、現状のままの考え方もあるが、将来にわたって適正な規模を維持するには抜本的な対策は避けられないと考え、そのためにも3校の統合は必要である。

荷揚校区も協議会を開催し協議したが、中心市街地の活性化により児童数の増加も考えられ、中心市街地の学校がなくなっても良いのかとの論議もある。また、3校統合の是非の前に、3校区それぞれに立地した場合のデメリット、メリットを検討し、そしてどこかに新設校が建設される案ができれば、残りの2小学校区のコミュニティ機能、防災機能等の具体的な協議が出来て、初めて3校統合に最終的な合意が出せると考えている。

住吉校区では委員10名を含む25名前後の協議会を常々開催しているが、地域住民の合意をどうやって得るのかなどの協議を重ねてきた。また、教育委員会としての具体的な各論が全く出てきていない状況なので、3校統合についての基本的な考え方を校区としてまとめることは今のところ出来ていない。教育委員会としての基本的な姿勢、具体的な案を示すことが先決ではないかとの意見が、校区の協議において多数である。



### 【3校統合に関する意見】

もしも自分の校区以外の学校に新設校を建設するとなった時に、それぞれの校区が反対をするのかしないのかをはっきりさせないといけない。PTAとしては市教委に1日でも早く決定していただき、それに対して良いのか悪いのかを含めて、協議していかない限りは、なかなか収まりがつかないのではないかと。子どもたちの環境を見る限りは、前に進めるしかないと思う。

子どもたちの教育内容も確かに大事だが、保護者の中には津波を心配する方もいる。もしも海の近くに決まった場合に、子どもを通わせることに否定的な方が多いと聞く。そうなると、児童の数が隣接校を希望するなどして想定よりかなり減り、統合案そのものが崩れてしまうのではないかと。最悪の場合、校区そのものが崩壊する可能性もある。保護者の希望が必ずしもどこでも構わないので3校統合に賛成とは捉えていない。メリット・デメリットをそれぞれの学校について協議し、初めて最終的な賛意を公表できると考える。

中島校区としては手放しに3校統合に賛成するという意味合いではない。確かに基本計画で具体的な提示がされていない中で、立地場所、児童の受け止め方、新しい学校の運営方法、通学路の安全確保など、保護者も含めて我々委員も不安や心配をしているが、このような不安や心配を早く話し合いによって解決することが、地域協議会に求められていると思う。協議に入るためには、3校統合し新設校を建設との考え方に各校区が合意した上で、議論を進めることが必要ではないか。立地のための条件を整備し、最終的に一番望ましいとの考え方を協議会としてまとめて、教育委員会に付託するとの手順を踏むべきではないか。

総論で統一意見をだすことは、協議会として非常に危険性が伴うと思う。教育委員会が立地場所の複数の候補地を示して、児童数、学級数、敷地面積など比較考慮しながらデメリット、メリットを示し、その上で協議会としての判断をするのであれば良いと思う。

3校統合することを前提として協議をするのか、しないのかをはっきりした方が良い。その点を協議しないと会議は進まないと思う。

## 第3回協議会で確認した事項

大分市立小中学校適正配置基本計画に基づき、3校統合の方向性で協議を進める。  
(仮称)碩田中学校区適正配置地域協議会規約(案)に関する文言等については、指摘のあった箇所以外も含めて、会長・副会長と相談のうえ事務局で調整し、次回に再度提案する。

- ・第1条について  
原案どおりとする。
  - ・第2条について  
「協議会としての意見をとりまとめる」「協議会としての意見をとりまとめ、教育委員会に付託する」に修正する。
  - ・第3条について  
各小中学校長及び教育委員会事務局委員の立場を明確にするため、専門(アドバイザー)委員とし、その立場から説明や意見、助言ができる項目を追加する。
  - ・第4条について  
原案どおりとする。
  - ・第5条について  
「教育委員会は協議会における合意内容の個別実施計画への反映状況を報告すること」と、「合意は委員及び専門(アドバイザー)委員により確認すること」を項目に追加する。  
(仮称)碩田中学校区適正配置地域協議会の傍聴に関する要領については、原案どおりとする。
- 第4回の地域協議会を12月20日(木)18:30~20:30 大分文化会館第2小ホールで行う。

### アンケート調査結果のお知らせ

前回の協議会だより(第2号)では、住吉小学校のPTAが行ったアンケート調査結果をお知らせしましたが、今回、荷揚町小学校PTAと中島小学校PTAが保護者に対してアンケート調査を行っていますので、その一部をお知らせします。

#### 【荷揚町小学校】(対象世帯数163 提出数25)

Q:3校統合して新設校を開設することについて賛成・反対どちらですか？

- ・賛成 17
- ・反対 6

Q:3校統合に関する意見や希望(抜粋)

- ・統合については、生徒数も増え、子どもたちには良いことだと思う。
- ・学校の歴史を思う気持ちは素晴らしいが、今の少子化の時代、校区にこだわった考え方はあまり意味がない。
- ・3校統合になると校区が広がるので、低学年でも無理なく安全に通えるよう考えてほしい。
- ・少人数制のメリットがいかされなくて残念。

#### 【中島小学校】(対象世帯数233 提出数122)

Q:3校統合して新設校を開設することについて賛成・反対どちらですか？

- ・賛成 69
- ・反対 45
- ・どちらでもない 8

Q:3校統合に関する意見や希望(抜粋)

- ・少人数、多クラス構成で、細やかな対応、教育が出来る学校にしてほしい。
- ・設置場所を決める際には、児童の通学、災害時対応など十分な配慮が必要。
- ・統合に関しては、子どもや地域にとっての利点よりも問題のほうが多いのではないか。
- ・統合して大規模校になった場合、子どもたちが新しい環境に対応できるか心配である。

# 小中一貫教育公開研究発表会について

大分市では、子どもたちに「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランスよくはぐくむとともに、保護者や地域の方に信頼される学校づくりを目指し、義務教育9年間を見通した系統的・継続的な指導を行う小中一貫教育を推進し、市内全中学校区において、学校や地域の実情に応じた小中一貫教育に取り組んでいます。

その中でも併設型小中一貫教育校賀来小中学校、連携型小中一貫教育モデル校6中学校区18小中学校においては、その研究の成果を市内の小中学校に広く還元するため、小中一貫教育公開研究発表会を行っています。

以下では、碩田中学校区と賀来小中学校の公開研究発表会の様子についてお知らせします。

## 碩田中学校区

連携型小中一貫教育モデル校である碩田中学校区の公開研究発表会が、11月13日に中島小学校で行われ、地域協議会の委員をはじめ、地域や保護者の方々もたくさん参加されていました。

今年度は、研究テーマを『「伝え合う力」を育成するための言語活動』、サブテーマを『系統性を意識した授業実践』としています。

碩田中学校区の小中一貫教育の取組は、今年度で4年目を迎え、平成21年度から研究推進校として2年間、そして、平成23年度からは研究モデル校として取り組んでいます。



荷揚町小学校2年生による国語授業の様子



碩田中学校2年生による道徳授業の様子

## 賀来小中学校

併設型小中一貫教育校賀来小中学校の公開研究発表会が、11月14日に賀来小中学校で行われました。

今年度は、研究テーマを『「生きる力」を育むための9年間を見通した教育課程の研究と実践』、サブテーマを『キャリア教育の視点に立った各教科・道徳・特別活動の実践を通して』としています。

今回の研究発表会には、碩田中学校区の保護者の方も見学に訪れており、「5・6年生が中学校のような教科担任制を実施していることに魅力を感じる」、「小中一貫教育の状況が良くわかり参加してよかった」との声も聞かれました。



特別活動の指導の様子。8年生（中2）が職場体験を通して学んだことを6年生に話している。

### <編集後記>

協議会では、協議会の様子を広くお知らせするため、協議会だよりを発刊しています。また、協議の主旨については、市のホームページでも公開しています。今後とも、協議会へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願い致します。

(仮称)碩田中学校区適正配置地域協議会だより「第3号」

発行：平成24年12月  
発行者：(仮称)碩田中学校区適正配置地域協議会  
事務局：大分市教育委員会教育企画課  
連絡先：(住所) 大分市荷揚町2-31  
(TEL) 097-537-5903(直通)  
(E-mail) kyoikukikaku@city.oita.oita.jp